

札幌市円山動物園基本方針 「ビジョン2050」の策定にあたって

1951年(昭和26年)5月、道内で最初に開園した円山動物園は、ヒグマ、エゾシカ、オオワシの3種の飼育動物からスタートし、現在、約170種900点もの動物を飼育展示しています。また、昨年のホッキョクグマ館のオープンに続き、今春からはアジアゾウ4頭の展示も始まっています。

このように、世界基準を満たした施設の整備により海外からの希少な動物を受け入れ繁殖を目指す取組は、本来、動物園に求められている役割の一つである「種の保存」を実現するものです。

また、近年の地球温暖化や森林破壊などの影響により、毎年、4万種の生物が絶滅しているとも言われている中、野生動物の生息地の現状を知り、地球環境に関する学びにつなげていく「環境教育」の場としての役割もますます重要になってきています。

札幌市では、2007年(平成19年)3月に札幌市円山動物園基本構想を策定しましたが、その後の動物園における動物福祉の重要性の高まりや、生物多様性の保全に向けた取組の加速化、持続可能な開発目標(SDGs)の発効など動物園を取り巻く環境や役割が大きく変化したことから、開園100年目となる2050年を見据え、札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」を策定しました。

ビジョン2050は、「命をつなぎ 未来を想い 心を育む動物園」を基本理念とし、円山動物園の進むべき道をまとめたものです。着実に実施することにより、市民にとって誇れる動物園となれるよう努めてまいります。

2019年(平成31年)3月

札幌市長 秋元克広



目次

第1章 はじめに

1. 円山動物園の歴史 1
2. 動物園の歴史と今日の役割 2
3. 円山動物園の現状と課題 6
4. 札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」の策定と位置づけ 8

第2章 円山動物園が目指す未来

1. 円山動物園の基本理念 10
2. 基本理念に基づく取組 10
3. 取組の概念図 11

第3章 基本理念に基づく取組

1. 重点項目 12
 - (1) 【保全】動物園の強みを生かして生物多様性の保全に貢献する 12
 - (2) 【教育】自然の大切さと動物の魅力を伝える 16
 - (3) 【調査・研究】動物のこと・環境のことを探求する 20
 - (4) 【リ・クリエーション】知的好奇心を満たす心地よい空間を創造する 22
2. 取組の根幹 24
 - 【動物福祉】全ての命に最善の暮らしを 24
3. 連携 27

第4章 基本理念を実現するための基盤

1. 飼育展示していく動物種の考え方 29
2. 経営基盤 32
3. 行動指針 34

第5章 検討経過

1. 市民動物園会議委員 37
2. 「ビジョン2050」検討部会委員 37
3. 会議等の開催経過 38
4. 市民意見の反映に関わる取組 39